

令和元年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 次第

日 時 令和元年11月26日（火） 午後2時30分～4時00分

場 所 鳥取県立武道館 2階会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 事

(1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

(2) 各管理者の土砂管理への取組

- ・ 海岸保全事業の進捗状況について (日野川河川事務所)
- ・ 土砂管理計画の取り組み状況について (日野川河川事務所)
- ・ 境港公共マリーナの土砂堆積対策について (境港管理組合)

3 その他

令和元年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 出席者名簿

R1年度		役 職	氏 名	随 行 者
構 成 員	鳥取大学大学院工学研究科	教 授	黒岩 正光	
	国土交通省日野川河川事務所	工務課長	神庭 治司	
		調査設計課長	武内 慎太郎	
	国土交通省境港湾・空港整備事務所	保全課長	門脇 陽治	
	境海上保安部警備救難課		欠席	
	米子市経済部文化観光局観光課		欠席	
	米子市経済部農林水産振興局水産振興室	室 長	赤井 貞治	
	米子市都市整備部建設企画課	企画調整室長	折戸 浩二	
	境港市産業部観光振興課	主 事	内山 亮太	
	境港市建設部管理課		欠席	
	日吉津村建設産業課	課 長	益田 英則	
	境港管理組合	係 長	岡田 順三	土木技師 露木 裕文
	鳥取県農林水産部水産振興局水産課		欠席	
	鳥取県県土整備部空港港湾課	課長補佐	瀬村 正樹	
	鳥取県西部総合事務所地域振興局西部観光商工課	課長補佐	石原 恵一	
	鳥取県西部総合事務所農林局農林業振興課林業振興室		欠席	
	鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	河川砂防課長	新宮 宏治	
維持管理課参事		谷野 俊爾	土木技師 谷口 萌	

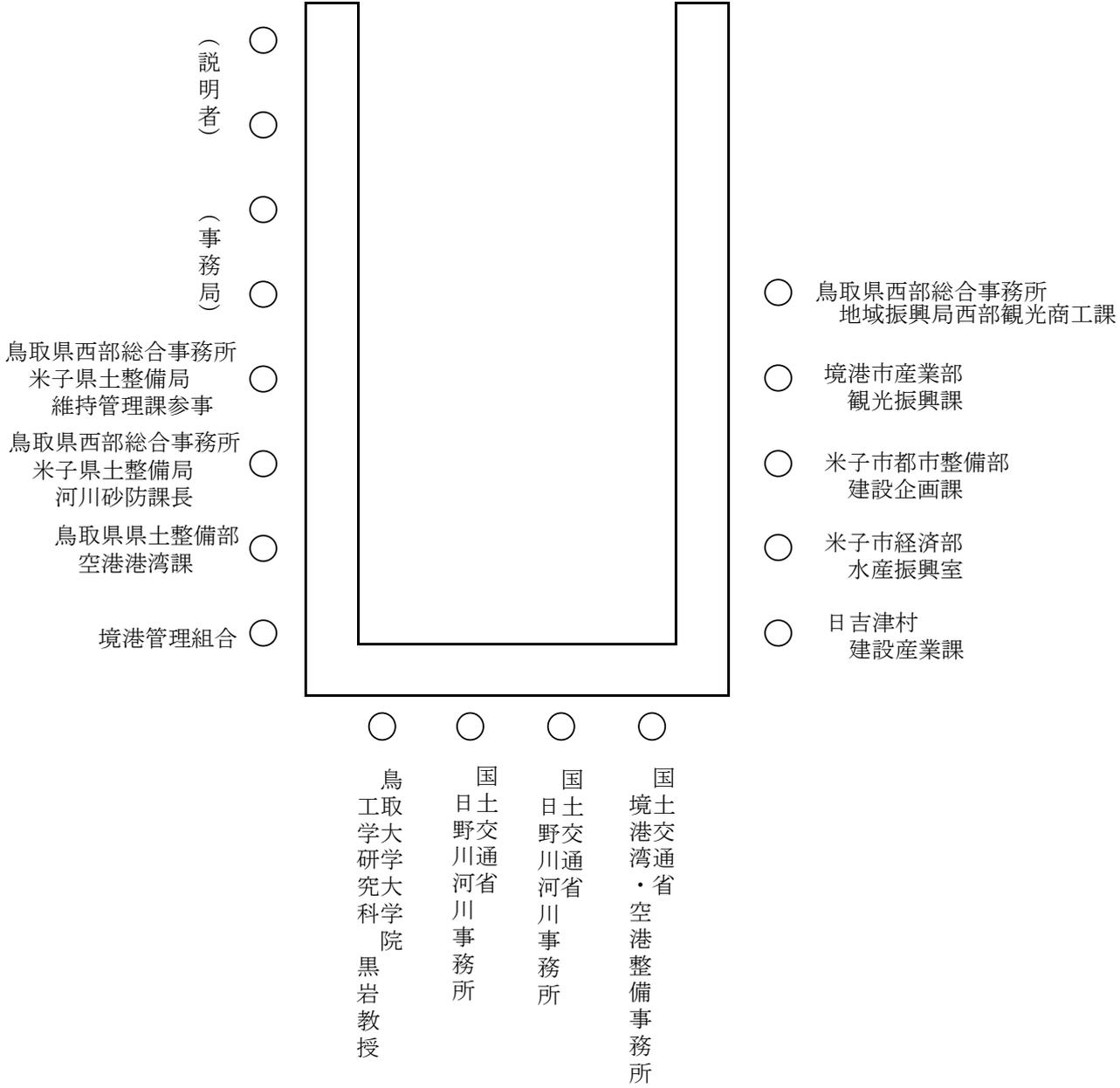
事務局

鳥取県県土整備部河川課

令和元年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 配席図

(入 口)

スクリーン



随行席

報道関係者席

平成30年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成30年11月22日（水）午後2時30分から4時
場 所：鳥取県立武道館 2階会議室

1 議事

(1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸毎に説明。

[検討対象海岸：境港工区、富益工区、夜見工区、両三柳工区、皆生工区]

(2) 各管理者の土砂管理への取組

■ 海岸保全事業の進捗状況について（日野川河川事務所）

- ・平成30年度で人工リーフ2基の施設改良が完了。
- ・台風24号により富益工区で浜崖が発生したため、養浜量を増やし対応している。
- ・境港マリナーの砂は粒径が小さく流されやすいので、今後は日野川河口等の粒径の大きい砂の養浜を検討していく。

■ 土砂管理計画の取り組み状況について（日野川河川事務所）

- ・「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を平成26年度に策定。
- ・策定に先立ち、海岸領域への土砂供給対策として、2.0k付近、5.8k付近における河道掘削、1.2k付近における置土を実施。
- ・7月豪雨に伴う出水は約1,400m³/sで、近年では最も大きかったが、さらに台風24号では戦後2番目の2,800m³/sを観測している。この出水により約22,000m³の土砂が流出し、トレースの結果、下流1km先までの流出が確認された。

<会議での主な意見>

意見) 5.8k付近の土砂流出については河口まで到達しているのか。

回答) トレース調査では1km下流までしか確認されていないが、沿岸の漂砂量等を検討すると、年間約30,000m³が日野川から流出していると考えられる。

意見) 土砂流出については測量（グリーンレーザー）で確認するしかないと思うが、河川内だけではなく周辺の海岸も含めて測量すれば、土砂流出による影響も把握できると思う。

回答) 予定としては河口周辺の海岸部を含め、7.0k付近まで測量を実施する予定。

■ 境港公共マリナーの土砂堆積対策について（境港管理組合）

- ・例年、浚渫量は10,000m³前後で推移していたが、来年度にレーザー級世界選手権大会が開催されることを踏まえ、平成30年度は30,000m³の浚渫を実施。
- ・平成23年度より防砂突堤の整備と維持浚渫により土砂堆積対策を実施する予定としていたが、度重なる台風等の高波浪による航路埋設等の被害を受け、漂砂系全体での対策を検討するために当面は防砂突堤整備を中止し、現在着手している長期構想検討（概ね10か年）と合わせて検討する。
- ・その間は、汀線・深浅測量を2か月に1回程度行い、必要に応じ維持浚渫を実施する。

意見) 沖合施設の整備は一時中止するとのことだが、今後も実施しないのか。

回答) 次期展開についてはまだはっきりとは言えないが、マリナーの入口が砂を受けやすい東側を向いていることについては、なんらかの方法で解決していく必要がある。また、防砂突堤については、土砂の堆積による影響を利用者に与えないようにするため慎重に検討する必要がある。